

## 愛知中小企業家同友会景況調査報告

— 1996年5月 —

## 〔雇用〕

足下、先行きともに「不足」超過幅縮小

前回調査で「不足」超過幅を大きく広げた全業種雇用動向DI（「過剰」－「不足」）は、今回調査ではその幅が縮小し、 $\Delta 14 \rightarrow \Delta 7$ となった。とくに、製造業では「不足」と答えた企業の割合が減少し、他方「過剰」と答えた企業の割合が若干増加した結果、両者の割合が同数となり、前回調査の $\Delta 12$ から0へと推移している。サービス業でも大幅に前者の割合が減少し、後者が増加、 $\Delta 42$ から $\Delta 3$ に推移した。建設業ではこれとは逆の動きが見られる。次期予測でも全業種では「不足」超過幅の6ポイント減少が予測されている。

## 〔経営上の力点など〕

経営上の問題点の第1位に「販売先からの値下げ要請」が浮上

調査開始以来「民間需要の停滞」が「経営上の問題点」の第1位を占めてきたが、今回調査では、「販売先からの値下げ要請」（40%）が第1位を占め、「民間需要の停滞」は38%で第2位であった。これは、建設業で「民間需要の停滞」を経営上の問題点として挙げた企業の割合の大幅な減少（77%→48%）によるものであるが、建設業でのこの変化は超低金利修正を見越した住宅需要の増大を反映したものと見ることができよう。第3位は「人件費の増加」（31%）であった。前回「人件費の増加」とともに第3位であった「新規参入者の増加」は19%とその比率を下げた。

文書回答では進展する産業の空洞化による需要減退と、増大する逆輸入による価格低下圧力の厳しい経営環境や、政策に支えられた「景気回復」に対する不安感、先行きが見通せない不安感が表明されている。景況分析会議でも会員経営者から同様の見解が以下のように述べられた。

## &lt; 会員の声 &gt;

カバン卸A 小売り段階では1兆円市場。業界はヨーロッパのブランド品と国内・アジアのPBで構成されており、ヨーロッパ製品は素晴らしく良い品物、PB製品は1993年を100とすると70～80くらいと低単価で数量も伸びない状況。消費スタイル変化への対応問題も抱えており、高いものも、安いものも海外輸入品、国内メーカー苦戦です。

印刷業B 仕事から外食関係のお付き合いが多いのですが、消費者がお金を使わない完全に悪い状態。こらえきれない状況で老舗の閉店が続いている。新規の出店も見切りが早く、3ヶ月で判断して閉めてしまう。

建設関連C 個人住宅は金利上昇や消費税の駆け込みもあるのか、少し仕事が出ている。ビルやマンションは5月の連休明けから止まっており、公共工事も6～8は端境期、地方自治体の予算削減（2割程度）も進行し、談合以前の問題がある。現在見積りが殆どないので2ヶ月後の仕事は殆どなく、我慢できなくて・・・という建設倒産はまだこれから出るのでは？

## 愛知中小企業家同友会景況調査報告 No.10

1996年 6月25日発行

編集・発行 愛知中小企業家同友会・情報センター  
景況調査研究会

〒460 名古屋市中区錦三丁目5-18京枝屋ビル4階  
電話 052(971)2671(代) ファクシミリ 052(971)5406

## 鈍化する回復力に警戒感起こる

## 〔概況〕

昨年11月の前々回調査から3四半期連続で景況感の改善が見られ、今回調査では、前年同月に比して業況が「好転」したと答えた企業と「悪化」したと答えた企業の割合が同数であり、その差を示すDI値は0となった。業況判断DIがマイナスを脱したのは94年2月の調査開始以来はじめてである。前回調査からの変動幅は4ポイントの小幅改善ではあったが、業況判断DIの推移を見る限り、徐々にではあるが、「回復の裾野が広が」って来ているということもできるであろう。

しかし、他の諸指標はその「広がり」の強さとスピードとが非常に限定的であることを示している。たとえば、製造業では、前年同月比の売上高DI、経常利益DIともにプラス超過幅が前回調査に比して大きく減少し、同様に価格変動DIでは前年同月に比して「低下した」と答えた企業の割合が前回調査より増加、そして在庫感DIでも「増加」したと答えた企業の割合が前回調査のそれより増えている。また、全業種の次期見通しでは、業況判断DIは前回予測より1ポイント上昇させ0と予測しているが、資金繰りDIをのぞく他のすべてのDIが前回調査の予測より「悪化」を見通している。

「民間需要が主導する自立回復への入り口をくぐった」とされる日本経済であるが、景気の前導役であった半導体市場の急速な落ち込みや住宅ブームを支えた超低金利修正の可能性、そして打ち続く大企業でのリストラと海外進出。このような環境のもとでの民間需要が秋口に息切れする公共事業にかわって果たして「自立回復」を導くことができようであろうか。今回調査の予測DIは、この間に否定的な解答を示したとみることができよう。

## 〔調査要項〕

- ①調査時 1996年5月29日～6月5日
- ②対象企業 愛知中小企業家同友会、会員企業
- ③調査方法 調査書をFAXで発送、自計記入、FAXで回収
- ④回答企業 625社より、200社の回答をえた（回収率32.0%）  
（建設業40社、製造業67社、流通・商業50社、サービス業43社）
- ⑤平均従業員 29.9人

なお、本報告は愛知中小企業家同友会情報センター（委員長、村上秀樹・村上電気工業株式会社）が実施した調査結果をもとに、景況分析会議（座長、山口義行立教大学助教授）での検討を経てなされたものである。

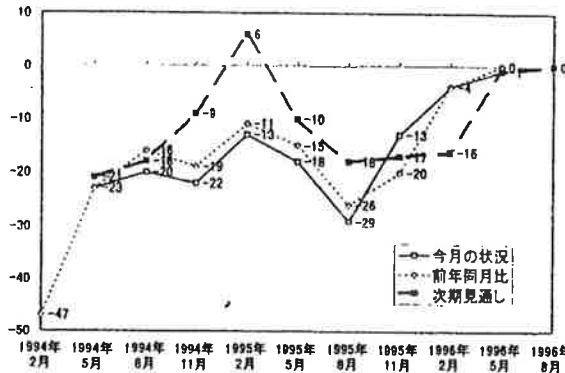
**〔業況判断〕**

**3 四半期連続で改善、ただし改善幅は縮まる**

昨年8月の△26を底として今年2月の前回調査では水面からの浮上をにらむ△4まで改善された業況判断DI（前年同月比）は、今回調査の小幅改善の結果、マイナスからは逃れたものの水面からの浮上にはいたらず、その値を0とした。業種別に見ると、前回調査で急速な「好転」を示したサービス業はその反動でプラス超過幅を26ポイント減少させた。建設業は売上高、経常利益、価格変動、取引条件ともに前回調査より好転しているが、業況が「好転した」と答えた企業の割合の増加より「悪化」したと答えた企業の増加率が上回り、2ポイントマイナス超過幅を増加させ△10となった。それに対して製造業では、「概況」で見たように、前年同月比の諸指標は必ずしも前回調査より改善されてはいないのであるが、業況判断DIは前回調査より13ポイント上昇し、8となった。製造業でプラス超となったのは調査開始以来はじめてである。また、2四半期連続で業況感を悪化させていた流通業は、今回調査では全般的な改善が見られた結果△6となり、マイナス超過幅を縮小した。

業況の絶対水準を尋ねる今月の状況DIおよび次期見通しDIも全業種では前回調査より小幅改善にとどまり、それぞれ△1（改善幅3）、0（改善幅1）となった。なお、次期見通しではサービス業での大幅なプラス超過幅の縮小（24→0）が目立っている。

業況判断DI(全業種)

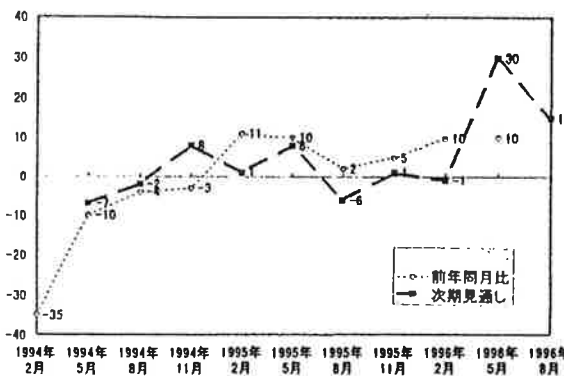


**〔売上高〕〔経常利益〕**

**予測値を大幅に下回る売上DI**

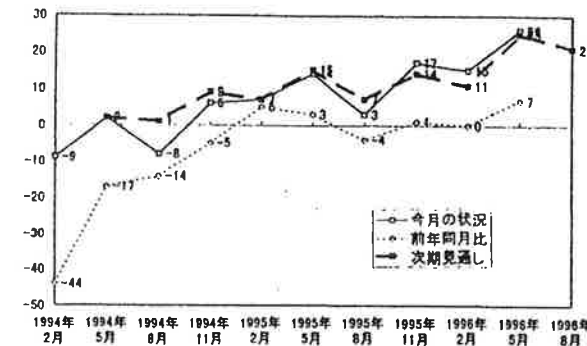
売上高DI（前年の5月と比べて、売上が「増加」したと答えた企業の割合から「減少」したと答えた企業の割合を引いたもの）は、前回調査で示された予測値より全業種で下回り、10にとどまった。業種別では、流通業と建築業で前回調査より好転したが、製造業とサービス業でプラス超過幅を前回調査より縮小した。次期見通しでは「増加」を予測する企業の割合が全業種で減少し、改善幅をせばめている。経常利益の推移DIは全業種で見ると前回調査より7ポイント改善され、0→7となった。業種別の動きは売上高と同様である。今月の状況では、「黒字」と答えた企業の割合の増加、「赤字」と答えた企業の割合の減少によって、11ポイント前回調査より好転し、26となった。ただし、次期見通しでは「赤字」を予測する企業の割合の増加が見られる。（経常利益のグラフは次頁上段参照）

売上高推移DI(全業種)



前回調査より好転し、26となった。ただし、次期見通しでは「赤字」を予測する企業の割合の増加が見られる。（経常利益のグラフは次頁上段参照）

経常利益推移DI(全業種)



では流通業での「過剰」予測の減少によって前回調査予測より3ポイントの改善が見込まれている。

**〔価格変動〕〔取引条件〕**

**価格変動横這い、取引条件は若干好転、ただし厳しい次期予測**

前回調査でマイナス超過幅が大きく縮小した価格変動DI（前年同月と比較して「上昇」したと答えた企業の割合から「低下した」と答えた企業の割合を引いたもの）は、△34→△35とほぼ横這いで推移した。取引条件は、昨年5月と比較して「好転」したと答えた企業の割合が若干減少したが、「悪化」したと答えた企業の割合の減少幅が前者より大であった結果、前回調査より3ポイントマイナス超過幅を縮小させた。業種別では建設業で12ポイントマイナス超過幅を縮小したのが目立っている。ただし、次期予測では前回予測より流通業を除く3業種で「低下」を予測する企業の割合が増加し、取引条件では全業種で「悪化」予測企業の割合が増加している。前回調査で価格変動、取引条件とも改善が見られたとはいえ、価格が前年の同月と比較して「低下」したと答えた企業の割合は約40%近くにも上っており、その水準からの更なる「低下」、「悪化」予測企業の増大からすると、体力の限界に直面する企業が増加する可能性も否定できない。

**〔資金繰り〕**

**「順調」が6割に達する**

資金繰りDI（「余裕」-「窮屈」）は前回調査より5ポイントマイナス超過幅を縮小して、△32→△27となった。「順調」と答えた企業の割合が調査開始以来はじめての6割に達し、次期見通しでも約6割の企業が「順調」と予測している。ただし流通業では予測DIのマイナス超過幅を拡大させ、「窮屈」と答えた企業が4割を超え、厳しい資金繰りを予測している。

**〔施設稼働率〕〔設備過不足〕**

**設備の「不足」感、若干強まる**

設備過不足DIは「不足」と答えた企業の割合が前回調査より3ポイント増加し、△8→△11となった。流通業、サービス業で「不足」感が強まった。施設稼働率は前回調査より1ポイントのプラス変動（6→7）であった。ただし、次期見通しでは施設稼働率が「低下する」とする企業の割合が前回予測より増加し、そのDI値（「上昇」-「低下」）を3→△2としている。設備稼働率も「過剰」を予測する企業の割合が若干増加し、他方「不足」を予測する企業の割合が減少した結果、そのDI値は△14→△8（「不足」予測企業の割合の減少）となっている。

**〔在庫〕**

**ふたたび増大する「過剰」感**

昨秋以来、在庫感DI（「過剰」「適正」「不足」のうち「過剰」と答えた企業の割合から「不足」と答えた企業の割合を引いたもの）は改善傾向にあったが、今回調査では「適正」と答えた企業の割合が減少して「過剰」と答えた企業の割合が増加した結果、景気の腰折れ状態に陥った昨年8月のDI値と同じ18となった。前年の5月と比較して「増加」したと答えた企業の割合も増加している。ただし、次期見通

# 【資料】DI値推移一覽

## <今月の状況>

### 経常利益DI

	94年				95年				96年	
	2月	5月	8月	11月	2月	5月	8月	11月	2月	5月
「黒字」-「赤字」	2月	5月	8月	11月	2月	5月	8月	11月	2月	5月
企業概	-9	2	-8	6	7	14	3	17	15	28

### 在庫感DI

	94年				95年				96年	
	2月	5月	8月	11月	2月	5月	8月	11月	2月	5月
「過剰」-「不足」	2月	5月 <td>8月 <td>11月</td> <td>2月</td> <td>5月 <td>8月 <td>11月</td> <td>2月</td> <td>5月</td> </td></td></td>	8月 <td>11月</td> <td>2月</td> <td>5月 <td>8月 <td>11月</td> <td>2月</td> <td>5月</td> </td></td>	11月	2月	5月 <td>8月 <td>11月</td> <td>2月</td> <td>5月</td> </td>	8月 <td>11月</td> <td>2月</td> <td>5月</td>	11月	2月	5月
企業概	19	25	15	15	8	18	18	13	10	18

### 資金繰りDI

	94年				95年				96年	
	2月	5月	8月	11月	2月	5月	8月	11月	2月	5月
「余裕」-「窮乏」	2月	5月 <td>8月 <td>11月</td> <td>2月</td> <td>5月 <td>8月 <td>11月</td> <td>2月</td> <td>5月</td> </td></td></td>	8月 <td>11月</td> <td>2月</td> <td>5月 <td>8月 <td>11月</td> <td>2月</td> <td>5月</td> </td></td>	11月	2月	5月 <td>8月 <td>11月</td> <td>2月</td> <td>5月</td> </td>	8月 <td>11月</td> <td>2月</td> <td>5月</td>	11月	2月	5月
企業概	-43	-33	-39	-41	-38	-34	-34	-28	-32	-27

### 設備過不足DI

	94年				95年				96年	
	2月	5月	8月	11月	2月	5月	8月	11月	2月	5月
「過剰」-「不足」	2月	5月 <td>8月 <td>11月</td> <td>2月</td> <td>5月 <td>8月 <td>11月</td> <td>2月</td> <td>5月</td> </td></td></td>	8月 <td>11月</td> <td>2月</td> <td>5月 <td>8月 <td>11月</td> <td>2月</td> <td>5月</td> </td></td>	11月	2月	5月 <td>8月 <td>11月</td> <td>2月</td> <td>5月</td> </td>	8月 <td>11月</td> <td>2月</td> <td>5月</td>	11月	2月	5月
企業概	10	7	3	5	-4	-2	-1	-5	-8	-11

### 雇用動向DI

	94年				95年				96年	
	2月	5月	8月	11月	2月	5月	8月	11月	2月	5月
「過剰」-「不足」	2月	5月 <td>8月 <td>11月</td> <td>2月 <td>5月 <td>8月 <td>11月</td> <td>2月 <td>5月</td> </td></td></td></td></td>	8月 <td>11月</td> <td>2月 <td>5月 <td>8月 <td>11月</td> <td>2月 <td>5月</td> </td></td></td></td>	11月	2月 <td>5月 <td>8月 <td>11月</td> <td>2月 <td>5月</td> </td></td></td>	5月 <td>8月 <td>11月</td> <td>2月 <td>5月</td> </td></td>	8月 <td>11月</td> <td>2月 <td>5月</td> </td>	11月	2月 <td>5月</td>	5月
企業概	11	7	-2	1	-8	2	-1	-3	-14	-7

### 業況判断DI

	94年				95年				96年	
	5月	8月	11月	2月	5月	8月	11月	2月	5月	
「良い」-「悪い」	5月 <td>8月 <td>11月</td> <td>2月</td> <td>5月 <td>8月 <td>11月</td> <td>2月</td> <td>5月</td> </td></td></td>	8月 <td>11月</td> <td>2月</td> <td>5月 <td>8月 <td>11月</td> <td>2月</td> <td>5月</td> </td></td>	11月	2月	5月 <td>8月 <td>11月</td> <td>2月</td> <td>5月</td> </td>	8月 <td>11月</td> <td>2月</td> <td>5月</td>	11月	2月	5月	
企業概	-23	-20	-22	-13	-18	-29	-13	-4	-1	
建設業	-9	-29	-36	-30	-12	-12	-30	-20	-11	
製造業	-33	-23	-17	-8	-29	-40	-14	-2	2	
流通業	-30	-13	-16	-7	-25	-7	0	-15	-6	
サービス業	-11	-12	-24	-17	0	-44	-8	33	7	

### 取引条件DI

	94年				95年				96年	
	2月	5月	8月	11月	2月	5月	8月	11月	2月	5月
「打倒」-「悪化」	2月	5月 <td>8月 <td>11月</td> <td>2月</td> <td>5月 <td>8月 <td>11月</td> <td>2月</td> <td>5月</td> </td></td></td>	8月 <td>11月</td> <td>2月</td> <td>5月 <td>8月 <td>11月</td> <td>2月</td> <td>5月</td> </td></td>	11月	2月	5月 <td>8月 <td>11月</td> <td>2月</td> <td>5月</td> </td>	8月 <td>11月</td> <td>2月</td> <td>5月</td>	11月	2月	5月
企業概	-26	-21	-22	-24	-29	-19	-21	-21	-14	-11

### 施設稼働率DI

	94年				95年				96年	
	2月	5月	8月	11月	2月	5月	8月	11月	2月	5月
「上昇」-「低下」	2月	5月 <td>8月 <td>11月</td> <td>2月</td> <td>5月 <td>8月 <td>11月</td> <td>2月</td> <td>5月</td> </td></td></td>	8月 <td>11月</td> <td>2月</td> <td>5月 <td>8月 <td>11月</td> <td>2月</td> <td>5月</td> </td></td>	11月	2月	5月 <td>8月 <td>11月</td> <td>2月</td> <td>5月</td> </td>	8月 <td>11月</td> <td>2月</td> <td>5月</td>	11月	2月	5月
企業概	-40	-20	6	2	4	-16	-8	-2	6	7

### 業況判断DI

	94年				95年				96年	
	2月	5月	8月	11月	2月	5月	8月	11月	2月	5月
「打倒」-「悪化」	2月	5月 <td>8月 <td>11月</td> <td>2月</td> <td>5月 <td>8月 <td>11月</td> <td>2月</td> <td>5月</td> </td></td></td>	8月 <td>11月</td> <td>2月</td> <td>5月 <td>8月 <td>11月</td> <td>2月</td> <td>5月</td> </td></td>	11月	2月	5月 <td>8月 <td>11月</td> <td>2月</td> <td>5月</td> </td>	8月 <td>11月</td> <td>2月</td> <td>5月</td>	11月	2月	5月
企業概	-47	-23	-18	-19	-11	-15	-26	-20	-4	0
建設業	-47	-25	-32	-21	-32	-27	-9	-20	-8	-10
製造業	-53	-20	-17	-21	-3	-28	-40	-20	-5	8
流通業	-44	-28	-20	-15	7	0	5	-13	-16	-6
サービス業	-41	-24	5	-16	-29	0	-39	-23	30	4

## <次期(3ヶ月先)見通し>

(表内はその月に対する予測)

### 売上高DI

	94年				95年				96年	
	5月	8月	11月	2月	5月	8月	11月	2月	5月	8月
「増加」-「減少」	5月 <td>8月 <td>11月</td> <td>2月</td> <td>5月 <td>8月 <td>11月</td> <td>2月</td> <td>5月 <td>8月</td> </td></td></td></td>	8月 <td>11月</td> <td>2月</td> <td>5月 <td>8月 <td>11月</td> <td>2月</td> <td>5月 <td>8月</td> </td></td></td>	11月	2月	5月 <td>8月 <td>11月</td> <td>2月</td> <td>5月 <td>8月</td> </td></td>	8月 <td>11月</td> <td>2月</td> <td>5月 <td>8月</td> </td>	11月	2月	5月 <td>8月</td>	8月
企業概	-7	-2	8	1	8	-6	1	-1	30	15

### 経常利益DI

	94年				95年				96年	
	5月	8月	11月	2月	5月	8月	11月	2月	5月	8月
「黒字」-「赤字」	5月 <td>8月 <td>11月</td> <td>2月</td> <td>5月 <td>8月 <td>11月</td> <td>2月</td> <td>5月 <td>8月</td> </td></td></td></td>	8月 <td>11月</td> <td>2月</td> <td>5月 <td>8月 <td>11月</td> <td>2月</td> <td>5月 <td>8月</td> </td></td></td>	11月	2月	5月 <td>8月 <td>11月</td> <td>2月</td> <td>5月 <td>8月</td> </td></td>	8月 <td>11月</td> <td>2月</td> <td>5月 <td>8月</td> </td>	11月	2月	5月 <td>8月</td>	8月
企業概	2	1	8	7	15	7	14	11	25	21

### 在庫感DI

	94年				95年				96年	
	5月	8月	11月	2月	5月	8月	11月	2月	5月	8月
「過剰」-「不足」	5月 <td>8月 <td>11月</td> <td>2月</td> <td>5月 <td>8月 <td>11月</td> <td>2月 <td>5月 <td>8月</td> </td></td></td></td></td>	8月 <td>11月</td> <td>2月</td> <td>5月 <td>8月 <td>11月</td> <td>2月 <td>5月 <td>8月</td> </td></td></td></td>	11月	2月	5月 <td>8月 <td>11月</td> <td>2月 <td>5月 <td>8月</td> </td></td></td>	8月 <td>11月</td> <td>2月 <td>5月 <td>8月</td> </td></td>	11月	2月 <td>5月 <td>8月</td> </td>	5月 <td>8月</td>	8月
企業概	10	15	8	8	10	11	13	9	10	7

### 価格変動DI

	94年				95年				96年	
	5月	8月	11月	2月	5月	8月	11月	2月	5月	8月
「上昇」-「低下」	5月 <td>8月 <td>11月</td> <td>2月</td> <td>5月 <td>8月 <td>11月</td> <td>2月</td> <td>5月 <td>8月</td> </td></td></td></td>	8月 <td>11月</td> <td>2月</td> <td>5月 <td>8月 <td>11月</td> <td>2月</td> <td>5月 <td>8月</td> </td></td></td>	11月	2月	5月 <td>8月 <td>11月</td> <td>2月</td> <td>5月 <td>8月</td> </td></td>	8月 <td>11月</td> <td>2月</td> <td>5月 <td>8月</td> </td>	11月	2月	5月 <td>8月</td>	8月
企業概	-40	-41	-41	-42	-36	-42	-35	-44	-26	-29

### 取引条件DI

	94年				95年				96年	
	5月	8月	11月	2月	5月	8月	11月	2月	5月	8月
「打倒」-「悪化」	5月 <td>8月 <td>11月</td> <td>2月</td> <td>5月 <td>8月 <td>11月</td> <td>2月</td> <td>5月 <td>8月</td> </td></td></td></td>	8月 <td>11月</td> <td>2月</td> <td>5月 <td>8月 <td>11月</td> <td>2月</td> <td>5月 <td>8月</td> </td></td></td>	11月	2月	5月 <td>8月 <td>11月</td> <td>2月</td> <td>5月 <td>8月</td> </td></td>	8月 <td>11月</td> <td>2月</td> <td>5月 <td>8月</td> </td>	11月	2月	5月 <td>8月</td>	8月
企業概	-18	-19	-19	-20	-24	-17	-18	-20	-4	-12

### 資金繰りDI

	94年				95年				96年	
	5月	8月	11月	2月	5月	8月	11月	2月	5月	8月
「余裕」-「窮乏」	5月 <td>8月 <td>11月</td> <td>2月</td> <td>5月 <td>8月 <td>11月</td> <td>2月</td> <td>5月 <td>8月</td> </td></td></td></td>	8月 <td>11月</td> <td>2月</td> <td>5月 <td>8月 <td>11月</td> <td>2月</td> <td>5月 <td>8月</td> </td></td></td>	11月	2月	5月 <td>8月 <td>11月</td> <td>2月</td> <td>5月 <td>8月</td> </td></td>	8月 <td>11月</td> <td>2月</td> <td>5月 <td>8月</td> </td>	11月	2月	5月 <td>8月</td>	8月
企業概	-46	-39	-40	-46	-43	-39	-35	-38	-37	-30

### 施設稼働率DI

	94年				95年				96年	
	5月	8月	11月	2月	5月	8月	11月	2月	5月	8月
「上昇」-「低下」	5月 <td>8月 <td>11月</td> <td>2月</td> <td>5月 <td>8月 <td>11月</td> <td>2月</td> <td>5月 <td>8月</td> </td></td></td></td>	8月 <td>11月</td> <td>2月</td> <td>5月 <td>8月 <td>11月</td> <td>2月</td> <td>5月 <td>8月</td> </td></td></td>	11月	2月	5月 <td>8月 <td>11月</td> <td>2月</td> <td>5月 <td>8月</td> </td></td>	8月 <td>11月</td> <td>2月</td> <td>5月 <td>8月</td> </td>	11月	2月	5月 <td>8月</td>	8月
企業概	-14	-10	4	-5	8	-19	-5	1	3	-2

## <前年同月比>

### 売上高DI

	94年				95年				96年	
	2月	5月	8月	11月	2月	5月	8月	11月	2月	5月
「増加」-「減少」	2月	5月 <td>8月 <td>11月</td> <td>2月</td> <td>5月 <td>8月 <td>11月</td> <td>2月</td> <td>5月</td> </td></td></td>	8月 <td>11月</td> <td>2月</td> <td>5月 <td>8月 <td>11月</td> <td>2月</td> <td>5月</td> </td></td>	11月	2月	5月 <td>8月 <td>11月</td> <td>2月</td> <td>5月</td> </td>	8月 <td>11月</td> <td>2月</td> <td>5月</td>	11月	2月	5月
企業概	-35	-10	-4	-3	11	10	2	5	10	10

### 経常利益DI

	94年				95年				96年	
	2月	5月	8月	11月	2月	5月	8月	11月	2月	5月
「打倒」-「悪化」	2月 <td>5月 <td>8月 <td>11月</td> <td>2月 <td>5月 <td>8月 <td>11月</td> <td>2月 <td>5月</td> </td></td></td></td></td></td>	5月 <td>8月 <td>11月</td> <td>2月 <td>5月 <td>8月 <td>11月</td> <td>2月 <td>5月</td> </td></td></td></td></td>	8月 <td>11月</td> <td>2月 <td>5月 <td>8月 <td>11月</td> <td>2月 <td>5月</td> </td></td></td></td>	11月	2月 <td>5月 <td>8月 <td>11月</td> <td>2月 <td>5月</td> </td></td></td>	5月 <td>8月 <td>11月</td> <td>2月 <td>5月</td> </td></td>	8月 <td>11月</td> <td>2月 <td>5月</td> </td>	11月	2月 <td>5月</td>	5月
企業概	-44	-17	-14	-5	5	3	-4	1	0	7

### 在庫感DI

	94年				95年				96年	
	2月	5月	8月	11月	2月	5月	8月	11月	2月	5月
「増加」-「減少」	2月 <td>5月 <td>8月 <td>11月</td> <td>2月 <td>5月 <td>8月 <td>11月</td> <td>2月 <td>5月</td> </td></td></td></td></td></td>	5月 <td>8月 <td>11月</td> <td>2月 <td>5月 <td>8月 <td>11月</td> <td>2月 <td>5月</td> </td></td></td></td></td>	8月 <td>11月</td> <td>2月 <td>5月 <td>8月 <td>11月</td> <td>2月 <td>5月</td> </td></td></td></td>	11月	2月 <td>5月 <td>8月 <td>11月</td> <td>2月 <td>5月</td> </td></td></td>	5月 <td>8月 <td>11月</td> <td>2月 <td>5月</td> </td></td>	8月 <td>11月</td> <td>2月 <td>5月</td> </td>	11月	2月 <td>5月</td>	5月
企業概	14	-10	-7	6	8	5	4	2	0	7

### 価格変動DI

	94年				95年				96年	
	2月	5月	8月	11月	2月	5月	8月	11月	2月	5月
「上昇」-「低下」	2月 <td>5月 <td>8月 <td>11月</td> <td>2月 <td>5月 <td>8月 <td>11月</td> <td>2月 <td>5月</td> </td></td></td></td></td></td>	5月 <td>8月 <td>11月</td> <td>2月 <td>5月 <td>8月 <td>11月</td> <td>2月 <td>5月</td> </td></td></td></td></td>	8月 <td>11月</td> <td>2月 <td>5月 <td>8月 <td>11月</td> <td>2月 <td>5月</td> </td></td></td></td>	11月	2月 <td>5月 <td>8月 <td>11月</td> <td>2月 <td>5月</td> </td></td></td>	5月 <td>8月 <td>11月</td> <td>2月 <td>5月</td> </td></td>	8月 <td>11月</td> <td>2月 <td>5月</td> </td>	11月	2月 <td>5月</td>	5月
企業概	-61	-59	-53	-50	-47	-48	-49	-52	-34	-35

設備過不足DI

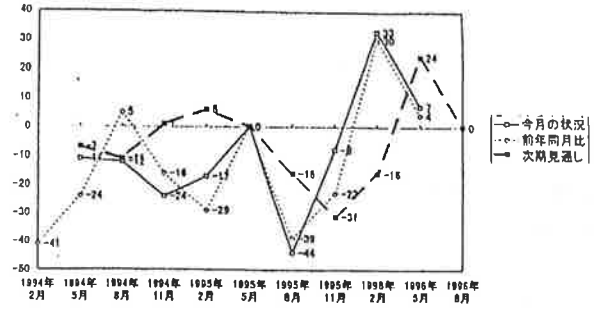
「過剰」-「不足」	5月	8月	11月	2月	5月	8月	11月	2月	5月	8月
全業種	7	7	2	-1	-10	-3	-4	-2	-14	-8

雇用動向DI

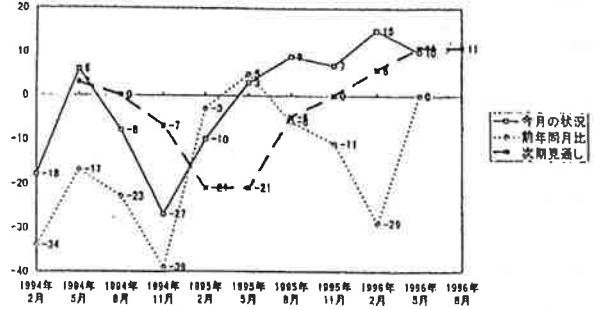
「過剰」-「不足」	5月	8月	11月	2月	5月	8月	11月	2月	5月	8月
全業種	4	6	-4	-18	-4	1	-1	-3	-13	-8

業況判断DI

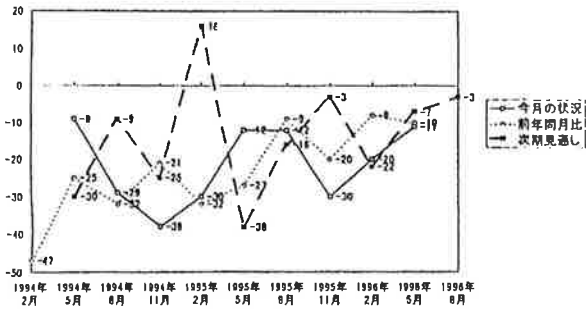
「良い」-「悪い」	8月	11月	2月	5月	8月	11月	2月	5月	8月
全業種	-18	-9	6	-10	-18	-17	-16	-1	0
建設業	-9	-25	18	-38	-16	-3	-22	-7	-3
製造業	-27	-8	-7	-10	-28	-25	-18	-6	4
流通業	-21	-4	24	7	-7	8	-7	0	-4
サービス業	-11	1	6	0	-16	-31	-18	24	0



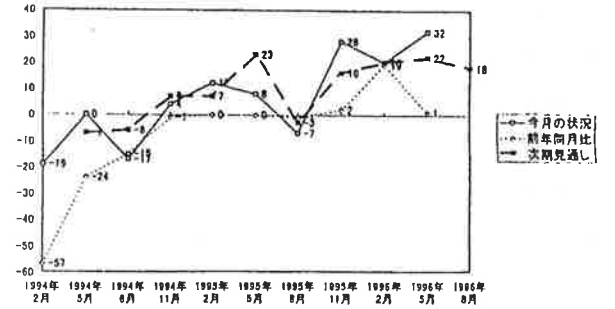
経常利益推移DI(建設業)



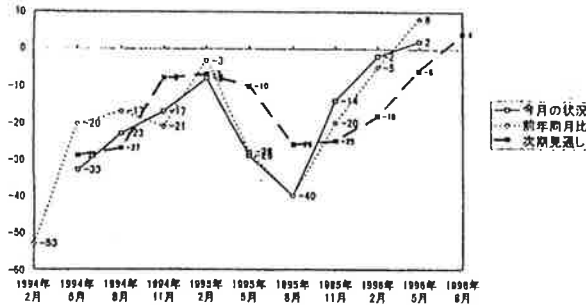
業況判断DI(建設業)



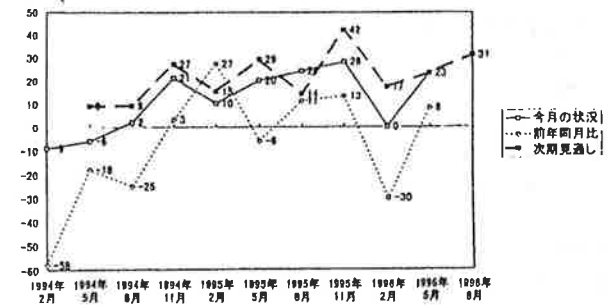
経常利益推移DI(製造業)



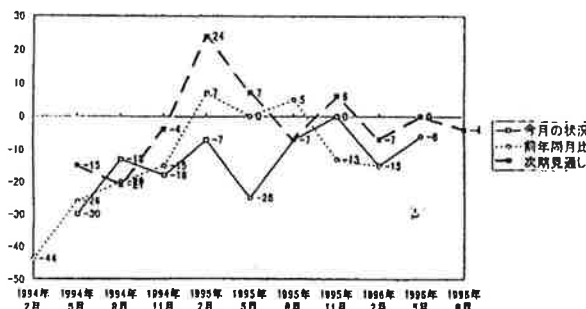
業況判断DI(製造業)



経常利益推移DI(流通業)



業況判断DI(流通業)



経常利益推移DI(サービス業)

